

---

# 岐阜県立岐阜商業高等学校

校長 村山 義広  
学校住所 岐阜市則武新屋敷1816-6 電話 058-231-6161

---

## 学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 岐阜商業高等学校 学校運営協議会（第1回）
- 2 開催日時 令和5年7月3日（月）10:00～11:45
- 3 開催場所 岐阜商業高等学校 凜心会館2F会議室
- 4 参加者  
会長 川島 政樹 カワボウ株式会社 代表取締役社長  
副会長 大友 克之 朝日大学 学長  
委員 和田 直也 岐阜市議会議員  
大野 裕美 早田公民館 元館長  
濱田 美姫 全日制PTA特別活動委員長  
尾山 智子 定時制育友会副会長

学校側  
村山 義広 校長  
廣江 修 副校長  
小野寺 彰 事務部長  
吉田 美智代 教頭  
早矢仕 賢治 教頭  
田中 英淳 商業教育推進部長  
後藤 敦史 教務部長  
糸井 統 生徒指導部長  
大池 須美子 進学指導部長

### 5 会議の概要（協議事項）

- (1) 学校長挨拶
  - ・学校運営の方針と重点について
  - ・スクールポリシーの具体的実践について
- (2) 教育指導の重点及び学校計画について
- (3) 学校全般について
- (4) その他

#### 【全日制】

意見1：県岐商は愛校心をもった生徒を多く育てており、岐阜の財界の多くの方々が県岐商を応援している。このようなベースがあって初めて地域愛につながり「ふるさと教育」が推進できると考える。よって県岐商においては、このスクールポリシーを選んで入学してきた生徒に、3年間それをきっちり体験を通して身に付けさせて社会に送り出してほしい。今後も引き続きスクールポリシーの具現化に取り組んでほしい。

意見2：生徒アンケートの中で「授業が楽しい」という項目などにおいて、年を追うごとに満足度が上がっていることは評価すべきことである。今後も継続していけるとよい。

意見3：進路について、県岐商は専門高校でありながら、全体の8割が進学という実績を出しているが、

これは「ふるさと教育」にもつながるが、県岐商から進学した生徒のその後の進路を把握していくこともぜひ大切にしていってほしい。

意見4：最近、スポーツ界の若い世代において、優秀な才能が開花しているが、その背景には科学的な指導や指導方法の高度化などが挙げられている。学校においても指導方法の高度化、科学化、効率化をぜひお願いしたい。そのためには基礎学力があつてのことであるが、そこから探究的な学びへとつなげていってほしい。

意見5「探究学習」の指導は難しい。身近な課題とはいえ、そこから展開できるネタをある程度、用意していかなければならないし、用意しすぎた通りに進んでもおもしろくない部分もあるので、引き続き、探究ネタの開発にチャレンジしていってほしい。

意見6：県外に進学した子をどうやって「ふるさと」に戻すかという問題については、地方都市すべてがかかえる問題であるが、卒業した高校だけの問題ではなく、県教育委員会と連携して追跡調査や保護者との連携、大学との連携を強化していかないと難しい。県岐商はそういう意味では凜心会があり、県岐商のような伝統校がリーダーシップをはかり、「ふるさと教育」を推進していってほしい。

意見7：英検等の現状を教えてほしい。

⇒資料にもありますように実用英語検定、全商英語検定においては2級が上昇傾向にある。今年度から1、2年生にベネッセのGTECを取り入れるなど、英語教育の推進を図っている。

意見8：(株)GIFUSHOの経営管理をどのようにやっておられるか教えてほしい。

⇒連携教育推進部という分掌があり、その分掌の教員が経営を管理している。また、LOB部という部活の生徒がCEOとなり、総務部として運営している。お金の管理は会計科の生徒が担当し、OBの税理士からアドバイスを受けながら生徒主体で運営している。

意見9：子どもの数が減少している中で県岐商として、中学校へどのようなアプローチをしているか教えてほしい。

⇒中学校から依頼があれば、出前授業や説明会に出向くなど教務部が対応している。また、中学校側からPTAがバスで学校見学に来られることもある。夏休み前にチラシの配布も行っている。さらに今年は夏休み中の高校説明会を2回から4回に増やして対応している。

意見10：「凜心会」に支えられて学校経営が成り立っている部分もあるが、この「凜心会」という同窓会組織の存在を学校でどのように伝えているのか教えてほしい。

⇒正直、在校生の中には「凜心会」の存在を知らない生徒もいるが、年間、何回かある校長訓話の際や「凜心会」からの助成金が交付される際には必ず生徒や部顧問に「凜心会」のバックアップ体制について説明をしている。

意見11：県岐商はもともと特色ある学校であるが、アプリ開発など高い情報処理のスキルをすでに身に付けている中学生たちにもっと刺さるように広報、PRしていってほしい。

意見12：「ふるさと教育」として愛校心をもたせるためにも在学中から「凜心会」の存在意義を十分に伝えていっていただきたい。

意見13：しばらくコロナでなかなかできなかったが、これから(株)GIFUSHOと地域連携事業を積極的に行っていただき、地域活動に協力していただきたい。

⇒かつては、地域と連携して行事に参加させていただいておりましたので、ぜひ、お声掛け下さい。協力させていただきます。

意見14：資格取得のための体制ができており、進学、就職実績も充実していることは大変よい。挨拶もしっかりできる生徒も多いことは感心できる。今年の岐商祭はPTAとしてバザー等の実施はあるか。

⇒今年からPTAによるバザー等を復活させる予定である。コロナ禍前までは、定時制の給食室を使用させていただいていたが、いろいろ規制があり、今年度は凜心会館を利用しながら活動を展開していく予定である。

### 【定時制】

意見 15：現在、通信制を選択する中学生が多い状況の中で定時制学校はどのようにこの状況を受け止めていくのか。定時制の在り方をもっと考えていかなければならない。通信制との比較をしながらも定時制高校の良さを発信していく必要がある。

意見 16：定時制は外の世界との関係をつなぎとめることができたり、人とコミュニケーションを図れる利点がある。年々、定時制を希望する生徒の人数が減ってきている状況もあるので学校説明会などでPR等もあるとよいが、学校説明会などで定時制の説明はしているか。

⇒中学校へ出向く学校説明会、または本校で実施するPTA来校時の学校説明会においては、定時制の説明まで行っていないが、質問等があれば個別対応させていただいている。また、定時制の学校説明会を夏休みに2回実施しているので、そこで対応させていただいている。

## 6 会議のまとめ

第1回学校運営協議会では、委員の皆様から種々の意見交換が行われたうえで、全委員より今年度の本校の学校運営基本方針について承認が得られた。企業、大学、地域、PTAなど様々な分野から多岐にわたるご提言やご助言をいただき、今後の学校教育を運営するにあたり、大変参考となった。今年度の学校経営に活かしていきたい。